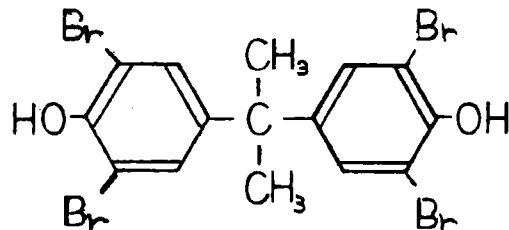


2,2-ビス(4'-ヒドロキシ-3',5'-ジブロモフェニル)プロパンの
濃縮度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年4月15日～昭和51年11月10日
2. 試料名 2,2-ビス(4'-ヒドロキシ-3',5'-ジブロモフェニル)プロパン
(試料名K-130)

構造式



性状 純度 99%以上
比重 約2.0
凝固点 179.5℃以上

3. 試験方法及び条件

環保業第5号
薬発第615号 } 魚介類の体内における化学物質の濃縮度試験による
49基局第392号 }

3.1 試験装置及び機器

- (a) 水系環境調節装置 流水式
- (b) ガスクロマトグラフ 検出器 ECD

3.2 試験条件

3.2.1 TLM試験

(a) 試験魚

ヒメダカ平均体重 0.18g、塩化第二水銀検定合格魚※

※田端 健二 用水と廃水 1.4 1297~1303(1972)

(b) 分散剤及び分散法

分散剤 硬化ヒマシ油 (HCO-100)

トリポリオキシエチレン(5)セチルエーテルリン酸エステル (TCP-5)

分散法 供試物質1gに対し、硬化ヒマシ油4g及びTCP-5 4gの割合で混合し、イオン交換水で定容して500ppmの原液を調製した。

(c) 試験温度

25±2℃

(d) 結果

48時間 TLM値 8.2ppm

3.2.2 濃縮度試験

(a) 蓄養及び順化

外部消毒 受入時に10ppm フランリドン溶液で24時間薬浴をした。

さらに止水状態で10ppm クロロテトラサイクリン溶液で24時間薬浴した。

順化 25℃×12日

(b) 試験魚

コイ 平均体重 約27.4g
平均体長 約10.2cm

(c) 試験温度

25±2℃

以下次頁に続く

(d) 試験濃度 48時間TLM値を考慮して設定した。

設定値
 第1濃度区 $8.2 \text{ ppm} \times \frac{1}{100} \div 0.08 \text{ ppm}$
 第2濃度区 $8.2 \text{ ppm} \times \frac{1}{1000} \div 0.008 \text{ ppm}$
 (単位 ppm)

| | 試料 | 硬化ヒマシ油 | TCP-5 |
|-------|-------|--------|-------|
| 第1濃度区 | 0.08 | 0.32 | 0.32 |
| 第2濃度区 | 0.008 | 0.032 | 0.032 |

実測値

表-1 濃縮倍率を求めるための平均濃度 (単位: ppb)

| | 2W | 4W | 6W | 8W |
|-------|------|------|------|------|
| 第1濃度区 | 79.8 | 82.8 | 87.3 | 86.2 |
| 第2濃度区 | 6.64 | 7.09 | 7.55 | 7.47 |

3.2.3 分析試料の前処理

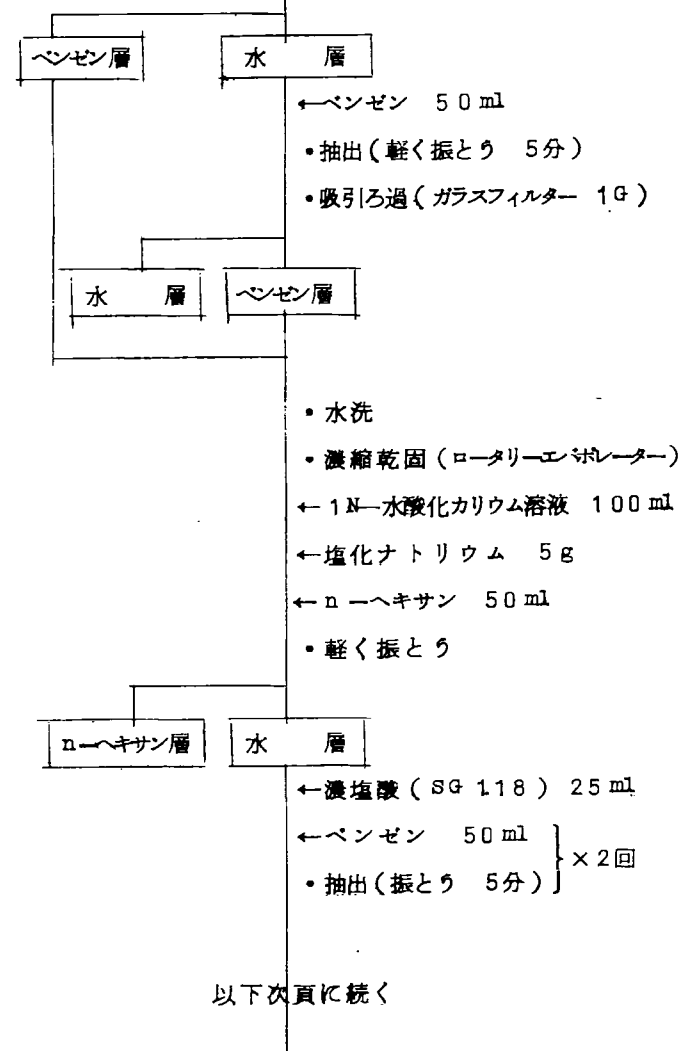
(a) 試験魚

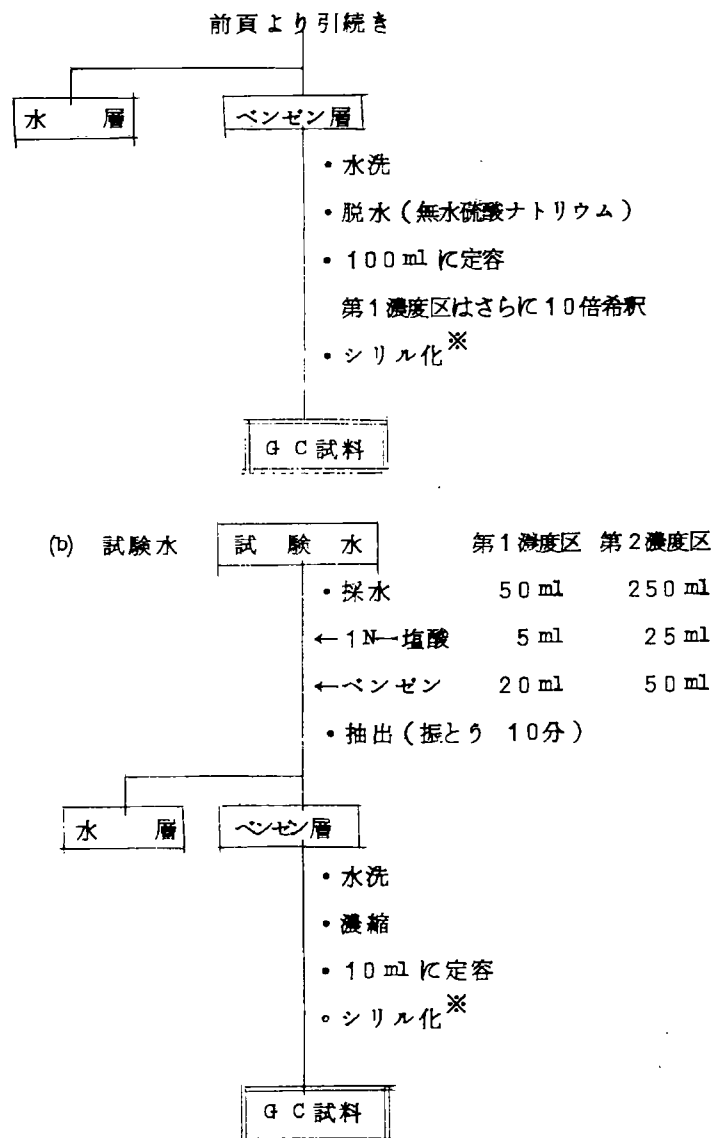
試験魚

- ・体重測定
- ・細片化
- ← 8N-塩酸 60 ml
- ← ベンゼン 50 ml
- ・加熱分解 (湯浴上 90分還流)
- ・放冷

以下次頁に続く

前頁より引続き





※ シリル化操作

1. ベンゼン定容液から 1 ml を分取し、空気を送風して濃縮乾固する。
2. トリメチルケイ素化 0.1 ml を加え、ドライヤーで 2～3 分加熱する。
3. シリル化物にベンゼン 2 ml を加えて溶解させ、イオン交換水で軽く水洗してベンゼン層を G C 試料とする。

3.2.4 分析条件

ガスクロマトグラフ (G C) 検出器 E C D

充てん剤 1%OV-17/クロモソルブW
80/100メッシュ

ガラスカラム 2 mm ϕ ×1 m

カラム温度 230℃

キャリアガス N₂

4. 試験結果

表-2 濃縮倍率

| | 2 W | 4 W | 6 W | 8 W | 付 図 | 付 表 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 第1濃度区 | 120 | 108 | 30 | 341 | 1 | 3 , 4 |
| | 160 | 92 | 63 | 309 | 4 ~ 8 | 6 |
| 第2濃度区 | 229 | 98 | 56 | 353 | 2 | 3 , 5 |
| | 152 | 311 | 52 | 485 | 4 ~ 8 | 6 |

5. 備 考

操作上特に問題点はなかった。

以 上